

デンカキューテックス

止水・補修用セメント

特殊な急硬セメントと無機物による止水・製品補修用の急硬セメント系材料

① 概要

デンカキューテックスは、特殊な急硬セメントと無機物を基材として製造した止水・製品補修用の急硬セメント系材料であります。

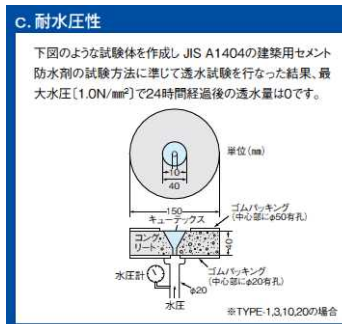
デンカキューテックスの主成分である特殊急硬セメントの水和反応硬化作用により、有効かつ簡単に止水・補修用としてその効果を発揮します。

デンカキューテックスは適量の水を加え練り混ぜるだけで使用できるように製造されたセメント系材料で、硬化時間までは適度の作業性を保ち、硬化開始と同時に急速に強度が増大します。



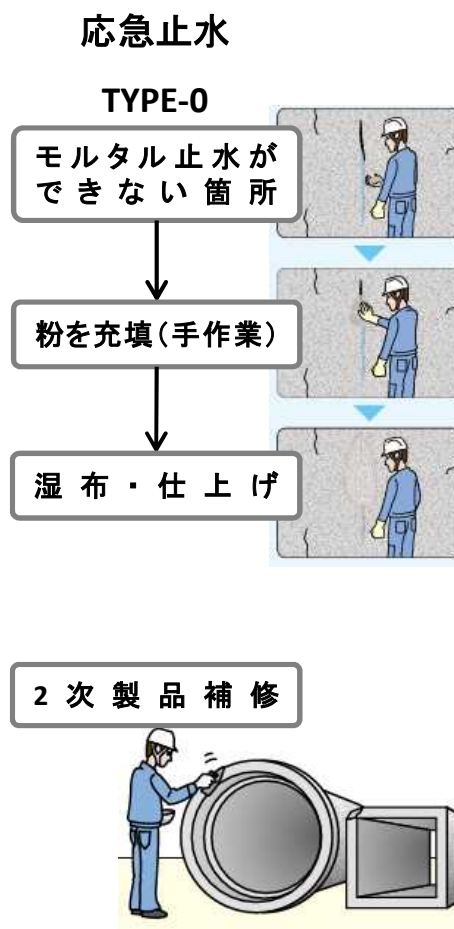
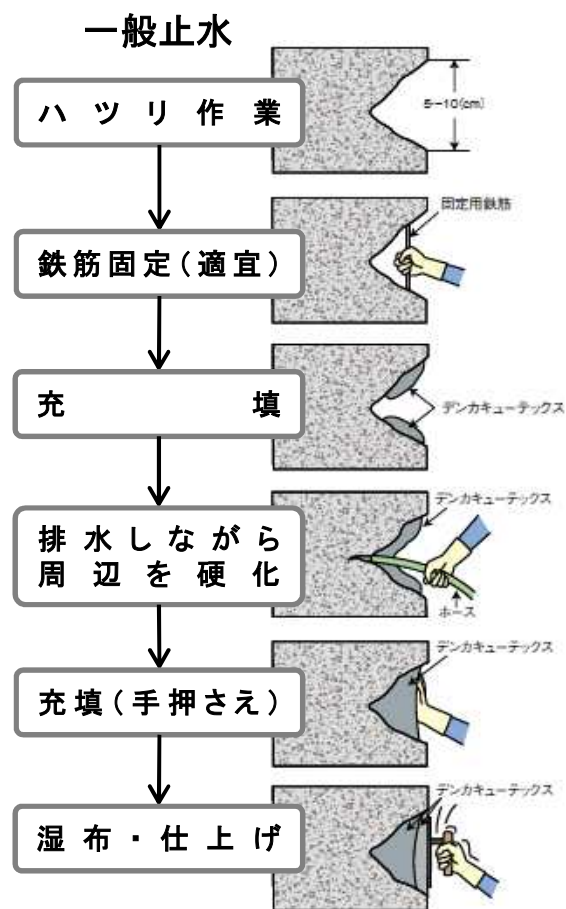
② 特徴

- 適量の水を加え、練り混ぜるだけで簡単に使用できます。
- 急硬性があり強度は硬化と同時に急速に増大します。
- 用途に応じた種類を用意しています。
- 接着力が強く耐水性・耐水圧が優れています。
- 硬化時に収縮せずひび割れが発生しません。
- セメント系材料なので施工後、コンクリート構造物と一体化が図れます。



	止 水 用				製品補修用			
	TYPE -0	TYPE -100	TYPE -1	TYPE -3	TYPE -10	TYPE -20	TYPE -B20	TYPE -U1
硬化時間 (分)※	0	1		3	10	20	20	10～70
特長	水と接触して瞬間的に硬化するタイプ	手離れが良く、施工性が良好な急硬タイプ		より接着力が大きく、止水性が良好な急硬タイプ	可使時間が長く、製品補修に適したタイプ		硬化後に切削・整形が可能	左官用無収縮モルタル木コン等の穴埋めに最適

③ 施工方法



④ 積算

条件により異なるためお問い合わせ下さい。

止水・補修用セメント

デニカキューテックス

Denka

デンカキューテックスとは

デンカキューテックスは、特殊な急硬セメントと無機物を基材として製造した止水・製品補修用の急硬セメント系材料であります。

デンカキューテックスの主成分である特殊急硬セメントの水和反応硬化作用により、有効かつ簡単に止水・補修用としてその効果を発揮します。

デンカキューテックスは適量の水を加え練り混ぜるだけで使用できるように製造されたセメント系材料で、硬化時間までは適度の作業性を保ち、硬化開始と同時に急速に強度が増大します。

特 徴

適量の水を加え、**練り混ぜるだけで簡単**に使用できます。

急硬性があり**強度は硬化と同時に急速に増大**します。

用途に応じた種類を用意しています。

接着力が強く**耐水性・耐水圧が優れて**います。

硬化時に**収縮せずひび割れが発生しません**。

セメント系材料なので施工後、**コンクリート構造体と一体化**が図れます。

用 途

地下コンクリート工事・地下鉄工事・上下水道工事・ダム工事・一般建築工事・コンクリート製品補修など

- 1** **コンクリート構造物のひび割れ、打継ぎ、ジョイントの補修および漏水箇所の止水に。**
(ボックスカルバート、U字構、縁石ブロック、パネル)
- 2** **コンクリート製品** (ヒューム管・コンクリート、枕木など) **破損部の補修に。**
- 3** **タイルおよび石張りの仮固定及び目地詰めに。**
- 4** **緊急補修工事に。**
- 5** **ブロックの目地充填に。**

デンカキューテックスの種類

		止 水 用				製品補修用			
		TYPE -0	TYPE -100	TYPE -1	TYPE -3	TYPE -10	TYPE -20	TYPE -B20	TYPE -U1
硬化時間 (分)※		0	1		3	10	20	20	10～70
特長		水と接触して瞬間的に硬化するタイプ	手離れが良く、施工性が良好な急硬タイプ		より接着力が大きく、止水性が良好な急硬タイプ	可使時間が長く、製品補修に適したタイプ		硬化後に切削・整形が可能	左官用無収縮モルタル木コン等の穴埋めに最適
配 合	製品 (kg)		1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
	水 (ℓ)	練混ぜずに粉のまま使用します。	0.3	0.3	0.3	0.3～0.4	0.3～0.4	0.3	0.18～0.25
	練り 上り量 (ℓ)		0.6	0.6	0.6	0.6～0.7	0.6～0.7	0.6～0.7	0.6
1缶当りの練り上り量 (ℓ)		—	12.9	12.9	12.9	12.9～14.9	12.9～14.9	6.5～7.5	6.9
1m ³ 当りの使用量 (kg) 目安 (ロス含まず)		—	1550	1550	1550	1550～1342	1550～1342	1550～1342	1695

TYPE-0



荷姿：10kg紙袋

TYPE-100



荷姿：20kg角缶
(10kgポリ袋×2)
練りボール入り

TYPE-1 TYPE-3
TYPE-10 TYPE-20

製品ごとに封缶テープの色が違います。



荷姿：20kg角缶
(5kgポリ袋×4)

※TYPE-1、3は練りボール入り
※上記の荷姿はTYPE-3のものです。

TYPE-B20

TYPE-U1



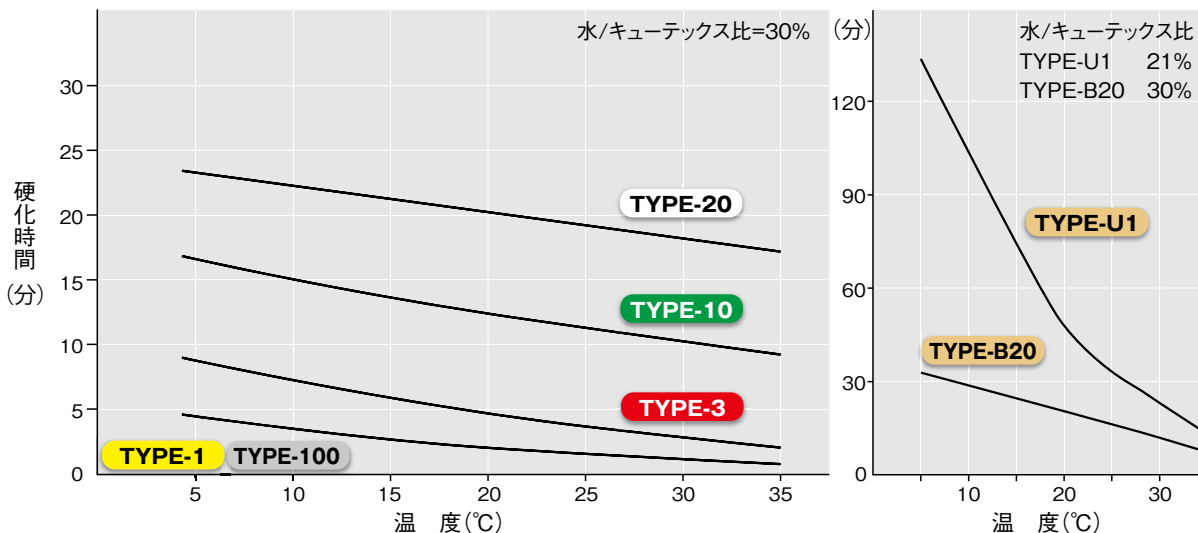
荷姿：10kg紙袋

※硬化時間は20℃の標準硬化時間。

デンカキューテックスの特性 (性状)

a. 硬化特性

温度と硬化時間の関係



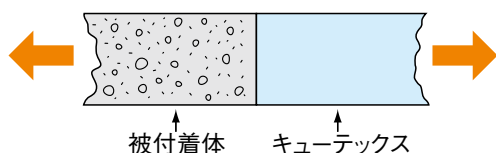
b. 強度特性

[測定例]

キューテックス	水/キューテックス (%)	圧縮強度 (N/mm ²)			
		1時間	3時間	1日	28日
TYPE-100	30	18.3	19.3	22.2	29.3
TYPE-1		3.3	6.4	16.4	46.7
TYPE-3		3.1	5.0	14.9	42.6
TYPE-10		3.2	4.0	13.6	38.2
TYPE-20		4.0	5.1	14.5	41.5
TYPE-B20		4.3	5.8	14.8	41.9
TYPE-U1	21	5.2	8.2	17.0	35.3

JSCE-F 506, JIS A 1108に準ずる (養生:20°C、80%RH)

付着性



[測定例]

被付着体	付着強度: [N/mm ²]	
	キューテックス	早強ボルトランド
コンクリート	3.1	0.3
軽量コンクリート	1.2	0.05
ケイカル板	2.2	0.2

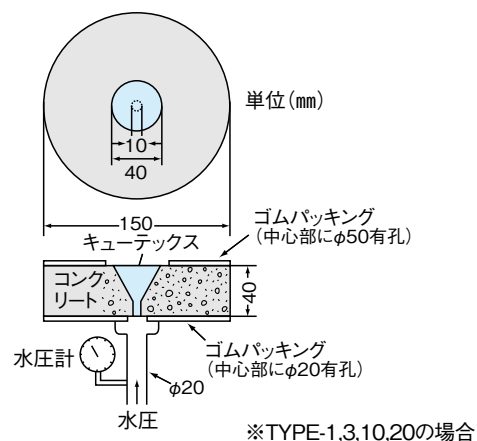
養生:20°C、80%RH

水/キューテックス比=30%

※TYPE-1,3,10,20の場合

c. 耐水圧性

下図のような試験体を作成し JIS A1404の建築用セメント防水剤の試験方法に準じて透水試験を行なった結果、最大水圧[1.0N/mm²]で24時間経過後の透水量は0です。



デンカキューテックスの施工方法(1)

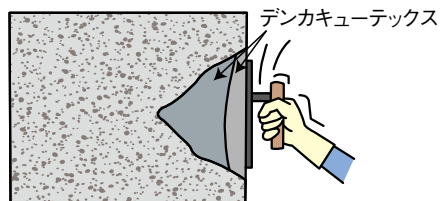
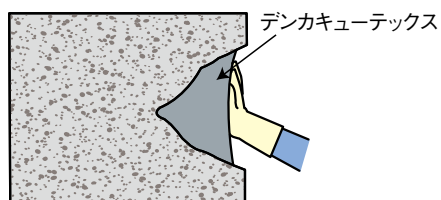
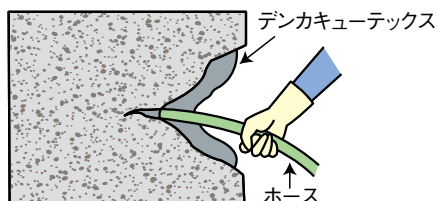
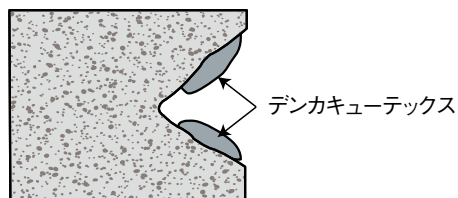
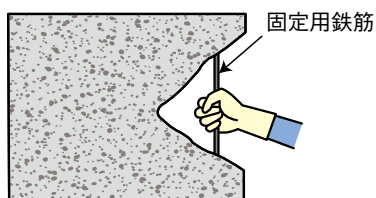
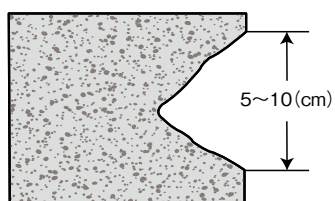
止水

一般的な止水の場合

TYPE-100

TYPE-1

TYPE-3



1 コンクリートの漏水個所を所定の寸法にてV形にハツる。(ハツる前に寸法以上にハツらないよう両端にカッターで刻みを入れるのが好ましい)

2 V形ハツリ部は施工直前にきれいな水で清掃しておく。漏水部コンクリートが動く場合は、 $\phi 13\text{mm}$ 鉄筋などを用いてハツリ部を固定する。

3 V形ハツリ部の漏水源のまわりを残し(全面から漏水している場合は漏水部を1カ所に集中させるようにして)周囲から徐々にデンカキューテックスを充填する。

4 周囲のデンカキューテックスが硬化した後、ビニールホース($\phi 10\sim 25\text{mm}$)を漏水源に挿入し排水しながらホース周囲を固める。

5 ホース周囲が充分硬化したらホースを抜取りその穴にデンカキューテックスが固まる直前に強く詰め込み、硬化するまで手で押さえる。

6 止水が完了したら、躯体と同じになるようにキューテックスモルタルおよび塗料を塗布して仕上げる。

※デンカキューテックスには、他のセメント類、フライアッシュ、不純物を混入しないで下さい。

※TYPE-100・TYPE-1・TYPE-3には砂を混和しないで下さい。

デンカキューテックスの施工方法(2)

止水

応急的に止水する場合

TYPE-0



- 1** 漏水量が比較的多くモルタルタイプでは止水できない場合は、デンカキューテックスTYPE-0を使用します。



- 2** 漏水部周囲の汚れを除去し、デンカキューテックスTYPE-0を、粉のまま、手で押し付ける。

- 3** 止水が完了したら、躯体と同じになるようにキューテックスモルタルおよび塗料を塗布して仕上げる。

※デンカキューテックスには、他のセメント類、フライアッシュ、不純物を混入しないで下さい。

※TYPE-0には砂を混和しないで下さい。

デンカキューテックスの施工方法(3)

■ コンクリート製品等の補修

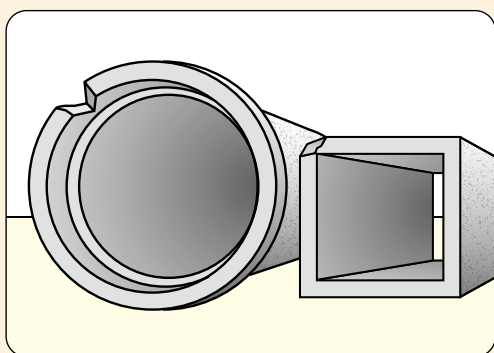
コンクリート製品等の補修の場合

TYPE-10

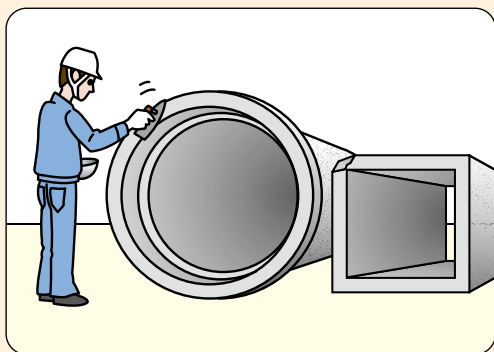
TYPE-20

TYPE-U1

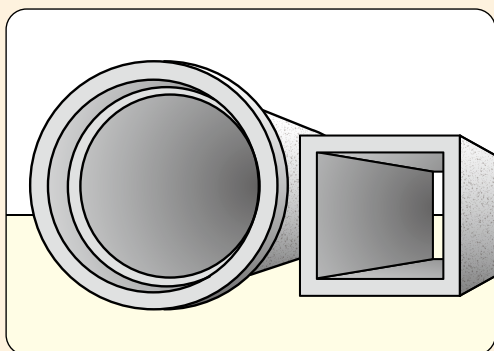
TYPE-B20



1 破損部分をきれいに掃除し水で良く湿らせておく。



2 デンカキューテックスを、プラスチック容器等で適量の水と共に練り混ぜる。



3 練り混ぜたデンカキューテックスで破損部分を仕上げる。仕上げはコテ、ハケで行い、精度が要求される場合にはデンカキューテックスが硬化後サンダー等を用いて研磨し、仕上げる。

4 硬化後、直射日光によりモルタル部分が乾燥しやすい状態のときは、時々散水したりして乾燥させないよう養生する。

※デンカキューテックスには、他のセメント類、フライアッシュ、不純物を混入しないで下さい。

※TYPE-10・TYPE-20以外の製品には砂を混和しないで下さい。

本社
東京都中央区日本橋室町2-1-1 (日本橋三井タワー) 〒103-8338
電話03-5290-5363

大阪支店
大阪市北区角田町8-1 (梅田阪急ビル) 〒530-0017
電話06-7176-7456

名古屋支店
名古屋市中村区名駅南1-24-20 (名古屋三井ビルディング新館) 〒450-0003
電話052-571-4535

福岡支店
福岡市博多区冷泉町5-35 (福岡祇園第一生命ビル) 〒812-0039
電話092-263-0841

新潟支店
新潟市中央区東大通1-3-10 (三井生命ビル) 〒950-0087
電話025-243-4121

北陸支店
富山市桜橋通2-25 (富山第一生命ビル) 〒930-0004
電話076-433-1441

札幌支店
札幌市中央区南2条西2-18-1 (NBF札幌南二条ビル) 〒060-0062
電話011-281-2301

東北支店
仙台市青葉区本町1-10-3 (仙台新和ビル) 〒980-0014
電話022-223-9191

長野営業所
長野市緑町1605-14 (長野ダイヤモンドビル) 〒380-0813
電話0262-26-4281

広島営業所
広島市中区三川町2-10 (愛媛ビル広島) 〒730-0029
電話082-249-7369

四国営業所
香川県高松市天神前10-12 (香川天神前ビル) 〒760-0018
電話087-833-6511

インフラソリューション開発研究所
東京都町田市旭町3-5-1 〒194-8560
電話042-721-3660

青海工場 セメント・特混研究部
新潟県糸魚川市大字青海2209 〒949-0393
電話025-562-6312

使用上の注意

練混ぜ

- 練混ぜに使用する水は、飲料水またはこれに準ずるような清澄水を使用して下さい。
- 取扱いは、保護メガネ、ゴム手袋を着用し、出来るだけ皮膚に付着しないような対策を講じて下さい。
- デンカキューテックスには、他のセメント類、フライアッシュ、不純物を混入しないで下さい。
- TYPE-10・TYPE-20以外の製品には砂を混和しないで下さい。万一砂を混和する場合、砂の種類、量によって硬化時間等の性状が変動しますので事前に試し練りをした後使用下さい。但し、使用する砂は出来るだけ乾燥したものを使って下さい。反応が早いので湿った砂の場合は空練り状態で一部硬化が始まり硬化時間が変動します。
- デンカキューテックスに一旦水を混入したら全部使用して下さい。特に硬化時間の短いタイプのものは少量ずつ混ぜて使用するのが安全です。

養生

- 湿潤な箇所では硬化後、黄色くなる場合がありますが、止水・強度等には影響ありません。このような場合にはセメントペーストをハケビキすることによって解決します。

製品の保管上の注意

- セメント系ですから風化、吸湿性が強いので保存には十分注意し、なるべく早くご使用下さい。

データ等記載内容についてのご注意

- 本書記載のデータ等記載内容は、代表的な実験値や調査に基づくもので、その記載内容についていかなる保証をなすものではありません。
- ご使用に際しては、必ず貴社にて事前にテストを行い、使用目的に適合するかどうかおよび安全性については、貴社の責任においてご確認ください。
- 本書記載の当社製品およびこれらを使用した製品を廃棄する場合は、法令に従って廃棄してください。
- ご使用になる前に、詳しい使用方法や注意事項等を技術資料・製品安全データシートで確認してください。これらの資料は、当社の担当部門にご用意しておりますので、お申しつけください。
- 本書の記載内容は、新しい知見により断りなく変更する場合がありますので、ご了承ください。



警告



- 水や汗・涙等の水分と接触すると強いアルカリ性になり、皮膚、目、呼吸器等を刺激したり、粘膜に炎症を起こします。
- 目に入れないこと。入った場合は、直ちによく洗浄し、専門医の診断を受けること。
- 皮膚に付けないこと。
- 鼻や口に入れないこと。
- 保護メガネ、防塵マスク、ゴム手袋を着用すること。
- 子供に触れさせないこと。

デンカ株式会社 特殊混和材部

本社：東京都中央区日本橋室町2-1-1 電話03-5290-5363